

大地



平成30年度全国学力・学習状況調査結果について

校長 菅原 聡

4月18日（火）に実施いたしました「平成30年度全国学力学習状況調査」の結果が道教委から公表され、6学年の保護者の皆様には、過日、お知らせ文書とともに「個人票」を配付いたしました。

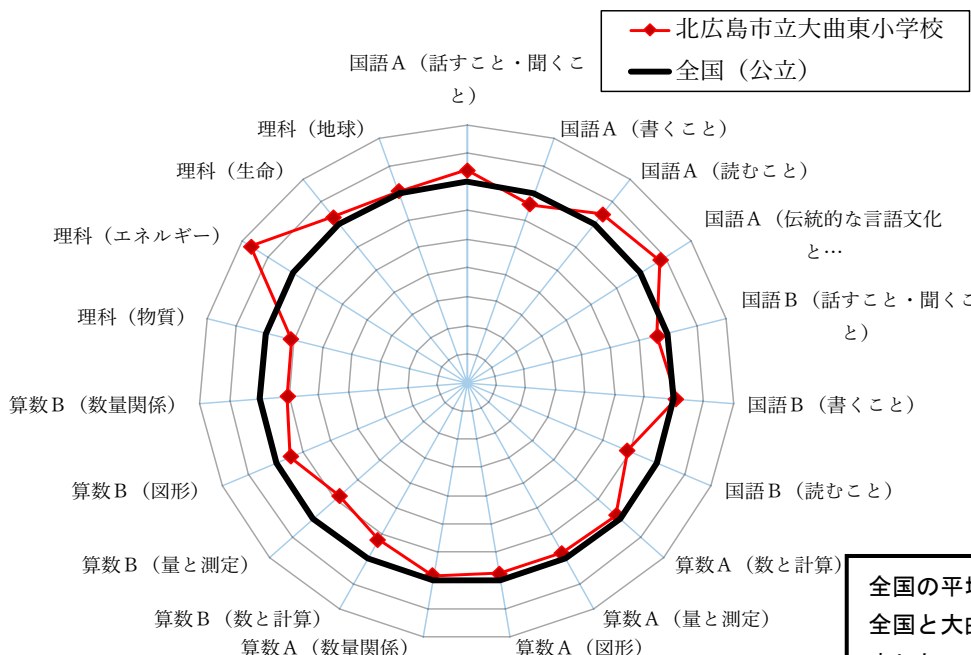
学力調査からうかがえる本校におけるおおよその傾向をお知らせします。この結果を真摯に受け止め、今後の本校児童の学力がさらに向上するよう職員一丸となって指導工夫改善に努めて参ります。

なお不明な点がありましたら、学校までお問い合わせください。

【本校の現状と課題】

全国正答率と本校正答率の比較

国語A (主として知識に関する問題)	全国平均正答率と比較し、 やや高い 状況です。
国語B (主として活用に関する問題)	全国平均正答率と比較し、 同様 な状況です。
算数A (主として知識に関する問題)	全国平均正答率と比較し、 同様 な状況です。
算数B (主として活用に関する問題)	全国平均正答率と比較し、 やや低い 状況です。
理科	全国平均正答率と比較し、 同様 な状況です。



全国の平均正答率を100と見て全国と大曲東小の正答率を比較しました。

☆国語 A B の結果概要

○正答率が高く、学力の定着が見られた項目

- ・A 今まで習った漢字の正しい読み書き
- ・A 相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、例などを挙げながら筋道を立てて話す
- ・A 目的に応じて必要な情報を捉える
- ・A 登場人物の心情について、情景描写を基に捉える
- ・B 話合いの参加者として、質問の意図を捉える

☆算数 A B の結果概要

○正答率が高く、学力の定着が見られた項目

- ・A 円周率の意味についての理解
- ・A 折れ線グラフから変化の特徴を読み取ること
- ・B 合同な正三角形で敷き詰められた模様の中に、条件に合う図形を見いだすこと

●誤答が多く、今後手当てしていきたい項目

- ・A 自分の想像したことを物語に表現するために、文章全体の構成の効果を考える
- ・B 話合いの参加者として、質問の意図を捉える
- ・B 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む

●誤答が多く、今後手当てしていきたい項目

- ・A 小数の除法の意味についての理解
- ・A 180° や 360° を基に分度器を用いて、 180° よりも大きい角の大きさを求めること
- ・B 限られた時間の中で情報を読み取り、関連づけ、比較し、条件に合わせて考察を文章で記すこと
- ・B グラフの特徴とメモ（情報）とを関連づけ、総数や変化に着目しながら考察し、表現すること

「学力学習状況調査（児童質問紙）」における学力向上に関連すると思われる項目

【生活に関連して】

- 将来の夢や目標を持っている児童が、昨年度よりもかなり増えました。
- 学校の決まりを守っている子の割合が、全国平均よりも低くなっています。

【学習に関連して】

- 家で学校の授業の予習・復習をしている割合が、全国の平均よりも高くなっています。
- 家で、自分で計画を立てて勉強をしている児童が、全国の平均よりも低くなっています。

学校全体でこんなとりくみを広げています

勉強しなくなるような環境にします

- ・朝学習「PUT」を続けます。
- ・学習道具・学習準備・学習中のきまりを徹底します。→「学びの7カ条」
- ・「大曲スタンダード」の定着を強化します。
- ・ノートの使い方（国語・算数）を徹底します。

行きたくなる学校・学級をつくります

- ・各種アンケートを分析し、児童理解と望ましい人間関係の構築、いじめ、不登校の未然防止を図ります。
- ・道徳教育による心をたがやす授業・活動の充実を図り、しっかり見とります。
- ・自己有用感を持たせる関わり方をたくさんします。（褒めて伸ばす）

「小中一貫教育」を磨き、わかりやすい言葉で発信します

- ・大曲中学校と大曲小学校と連携を密にし、9年間の学びをデザインして大曲中学校区での学力向上の実践を検証します。
- ・中学校の先生が小学校で授業をします。
- ・中学校模擬テストを実施します。
- ・『キャリア教育』を深めます。

みんながわかる授業をします

- ・個に応じた習熟度別少人数指導とチームティーチングを進めます。
- ・ICTを活用して視覚にもうたえる授業を作ります。
- ・主体的・対話的で深い学びとなる授業を作ります。
- ・わからない問題を『やりっ放しにしません』

教師力を向上します

- ・「わかった」「できた」「次の課題にも挑戦しよう」を導き出す意欲をかきたてる授業作りをします。
- ・「授業改善推進チームの職員」に授業の進め方を見てもらう等、授業のスキルアップを図ります。

ご家庭・地域と連携します

- ・「小中一貫教育・家庭学習の手引き」等を通して家庭と共通理解を図ります。
- ・毎週の学年通信に「家庭学習のヒント」を明記し、自発的な学習を促します。
- ・HPを小まめに更新し、わかりやすい言葉で発信します。

家庭・保護者の皆様に協力をお願いします

学校で上記のように関わっていきますが、ご家庭の協力をいただけると子どもたちのまだ見ぬ能力が更に発揮されると思うのです。お願いですが、ご家庭でお子さんに下記のように接していただければ、この上なくありがたいです。

- ① どんな小さなことでも最後までできたら、ほめてあげてください。
- ② 将来の夢を話題にしてください。夢を口に出せば、それは目標に変わります。手に届きやすくなります。
- ③ テレビ、ゲーム、インターネット、スマホ等の時間を減らしてください。全国で深刻な社会問題になっています。
- ④ 約束やきまり、ルールを守ることの大切さを具体的に話してあげてください。
- ⑤ 勉強時間を少しずつ増やしてください。
- ⑥ 家族で学校での話を聞いてあげてください。
- ⑦ 困っている人を助ける心をふくらませてあげてください。